

令和2年度 学校経営計画書

学 校 名	倉敷市立倉敷支援学校
校長氏名	神原 尚洋

○ 本校のミッション（使命、存在意義）

- ・障がいのある児童生徒が地域社会の中で豊かに生活するために、一人一人の教育的ニーズに応じた一貫性・系統性のある教育を行う。
- ・関係機関等との連携を図り、特別支援教育のセンター校としての役割を果たす。

○ ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン（将来像、目指す姿）

<めざす学校像>

- ・児童生徒の可能性を最大限に伸ばし、質の高い教育を実践する学校
- ・児童生徒にとっても保護者にとっても安全安心な学校
- ・保護者、地域、関係諸機関と連携した地域に開かれた学校

<めざす児童生徒像>

- ・基本的な生活習慣を身に付け、学びを生活に生かそうとする児童生徒
- ・自他を大切に、人や社会に主体的にかかわろうとする児童生徒
- ・健康な体と明るく思いやりのある心をもつ児童生徒

<めざす教職員像>

- ・自ら学ぼうとする意欲をもち、人間性・専門性を高め続ける教職員
- ・児童生徒や保護者の気持ちに寄り添い、信頼される教職員
- ・同僚性を有し、チームで助け合うことができる教職員

○ 当該年度の具体的な学校経営目標・計画

【学び】 自立と社会参加をめざしたキャリア教育と自立活動の充実

- 自立活動の個別の指導計画を活かした授業改善を行う。
- カリキュラムを充実させることで、小学部段階からの一貫した教育を行う。
(カリキュラム・マネジメント)

【安心】 安全安心な学校生活の充実

- 人権尊重の教育を徹底する。(あいさつと返事・和顔愛語・受容と共感)
- ・危機管理意識を高め、安全・安心な学校生活の充実を図る。

【連携】 地域や関係諸機関と連携した教育活動の充実（キーワード：双方向）

- 地域との連携を図った体験的活動や実習、作業製品販売等を推進する。
- 近隣の小・中・高等学校との双方向の学校間交流や居住地校交流を推進する。
 - ・開かれた教育課程と積極的な教育活動の発信により、理解啓発を図る。

【働き方】 時間管理と意識改革

- 最終退校時刻と月2回の定時退校を徹底する。
- ・校務を見直す。
「やめる」「かえる」「減らす」

○は令和2年度の最重点

